

日本国憲法は 家族の変化に どう対応すべきか？

— 科学技術の進歩と生命・生殖倫理から考える

日本国憲法が制定されてから70年以上が経ちました。
現在では、制定当時には想定されていなかった様々な問題が起こっています。
その重要な領域として、「家族」があります。
家族をめぐる状況は、ここ20年ほどで世界的に大きく変わりつつあります。
同性婚、LGBTの人権、離婚後の親権のあり方、ハーグ条約……、「家族のかたち」が、こうした問題によって問い直されています。
その一方、生殖技術の進歩は、ゲノム編集によるデザイナー・ベイビーなど、
深刻な生命倫理・生殖倫理の問題をつきつけています。
「人それぞれ」だけでは済まない難しさが家族をめぐる問題の特徴といえます。
本講座では、そうした現代的問題、特に法制度をめぐる具体的な事例を多く取り上げ、
日本国憲法とこれからの家族のあり方について、
参加者のみなさんとともに考えてみたいと思います。

リモート形式
&
リアル会場
参加無料

2020年12月5日[土]

13:30~16:00

- 13:00 ▶ 受付開始
- 13:30 ▶ あいさつ
- 13:40~15:10 ▶ 講演
- 15:10~15:20 ▶ 休憩
- 15:20~16:00 ▶ ディスカッション

会場 東海ジェンダー研究所セミナー室(6F)
名古屋市中区金山一丁目9-19 ミズノビル

主催 公益財団法人東海ジェンダー研究所

申込方法 ホームページの申込フォームから、又は本状裏面の申込書をFAXにて、東海ジェンダー研究所あてにお申し込みください。
本講座では、会場内での聴講(先着順)か、リモート形式のいずれかでご参加いただけます。
なお、会場席をご用意できなかった方で、リモートへの変更可能な場合には、あらかじめリモート形式での参加をご案内いたします。

**問合せ
申込先** TFGS 公益財団法人 東海ジェンダー研究所
〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-19 ミズノビル 6F
TEL: 052-324-6591 FAX: 052-324-6592 E-mail: info@libra.or.jp URL: https://www.libra.or.jp/

講師



吉良 貴之 さん
宇都宮共和大学専任講師

QRコードから
カンタン申込



講師紹介

吉良 貴之 (きら たかゆき)

宇都宮共和国専任講師、法哲学専攻。
東京大学法学部卒業、同大学院法学政治学研究科博士課程満期退学。日本学術振興会特別研究員などを経て現職。
研究テーマは「世代間正義論」「法と科学技術」など。
時間の中にある人々の営みと、それをめぐる法と正義のあり方について考えています。

サイト: <https://jj57010.web.fc2.com>



■ 主な著書

「将来を適切に切り分けること」『現代思想』
2019年9月号

「シルバー民主主義の憲法問題」『憲法のこれから』
(日本評論社、2017年)

A・ヴァーミュール『リスクの立憲主義』
(翻訳、勁草書房、2019年)

S・ジャサノフ『法廷に立つ科学』
(監訳、勁草書房、2015年) など

会場案内図

名古屋市中区金山一丁目9-19 ミズノビル
東海ジェンダー研究所 セミナー室(6F)



 (公財)東海ジェンダー研究所 (FAX 052-324-6592)あて
2020年度 ジェンダー問題講座

 参加申込書 (☑してください) 

リモート形式 リアル会場 リアル会場のみ希望
 リモート方式への変更も可能

ふりがな		
氏名		
<input type="checkbox"/>	当研究所の賛助会員の方は☑をしてください	
連絡先	TEL	FAX
E-mail		

*参加申込書の個人情報は、今回の行事のお申し込み確認や当日の受付、当研究所からのご案内以外には使用いたしませんのでご了承ください。

申込される方へのお願い

★新型コロナウイルス感染症予防のため、ご来場の際は必ずマスクの着用をお願いします。またご来場時に体温を計測させていただきます。咳や発熱などの症状がある方は、入場をご遠慮いただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

★新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、リモート形式でのみの開催に変更させていただく場合もございます。ご案内が開催直前になる場合もございますが、あらかじめご了承ください。